

(別紙)

北陸エリアにおける高付加価値旅行者のニーズを満たす
通訳ガイド向け人材育成の方向性

業務 1 高付加価値旅行者のニーズを満たす通訳ガイド向け人材育成事業業務

趣 旨: 北陸への高付加価値旅行者誘客にあたり、高付加価値旅行者の案内を任せられる通訳ガイドの不足が課題として挙げられる。そのため、高付加価値旅行者の目線や価値観を理解し、同旅行者が求めるサービスを提供できるガイドのための研修を実施する。

開催期間: 夏、冬場など通訳ガイドの業務閑散期に研修を実施すること。

参加対象: 北陸エリアで活動するガイドのうち、ガイドとして一定の知識や技能を持ち、さらに高いレベルを目指して今後も活躍していく意欲のある方

育成人数: 10 名程度を想定

研修内容: 予算の範囲内で、可能な限り以下の項目を含めた研修とする。

【導入研修(座学)】 オンライン可。参加者のリアルタイムでの参加を必要としないものは、事前に研修動画を作成し、現地研修前に参加者に視聴させることも可能とする。

○インバウンド・高付加価値旅行者の動向

○北陸エリアに来られる高付加価値旅行者の特徴

○ホスピタリティ研修

コミュニケーション能力・臨機応変な対応力・高付加価値旅行者に見合った品性の向上

○高付加価値旅行者対応の留意点とトラベルプランニング

○高付加価値旅行取扱い旅行会社の視点から、ガイドに求める役割や要件

【テーマ別研修】 各分野における専門家を講師として想定

○知識の深掘りではなく、高付加価値旅行者の価値観を理解することで、ゲストと同じ目線に立ったガイドングができるようになることを目指す。

(テーマ例)

欧米系の高付加価値旅行者の価値観・興味関心、日本の工芸と美意識、建築・アート、食(酒、発酵)、スピリチュアル、北陸の文化・歴史(北前船、禅、土徳、加賀藩など)

【実地研修】 対面必須

○北陸エリア(富山県、石川県、福井県及び岐阜県白川村)の実際の現場でのロールプレイング:3日(各県1日)

【ネットワーク】

○国内 DMC とのマッチング、参加通訳ガイド同士の交流会

業務 2 通訳ガイド拡充を目的とした人材育成事業業務

趣 旨: 北陸エリアでは、高付加価値旅行者のニーズを満たす通訳ガイドに限らず、通訳ガイドの絶対数不足が課題として挙げられる。通訳ガイドを継続的に育成することで訪日外国人旅行者の満足度向上に繋げることを目的としてエントリー研修を実施する。

開催期間: 観光関連事業者やボランティアガイド等の業務閑散期に研修を実施すること。

参加対象: 北陸エリアで活動する観光事業従事者やボランティアガイド、ALT 等の“ポテンシャル人材“のうち、有償通訳ガイドの活動に興味がある方
(将来的に高付加価値旅行者のニーズを満たす通訳ガイドへとステップアップしようとする意欲をもつ方が望ましい)

育成人数: 30 名程度を想定

研修内容: 予算の範囲内で、可能な限り以下の項目を含めた研修とする。

【導入研修(座学)】 オンライン可。参加者のリアルタイムでの参加を必要としないものは、事前に研修動画を作成し、現地研修前に参加者に視聴させることも可能とする。

- ガイドの仕事の概要(基本動作、業務の流れ、責任範囲等)
- 日本のインバウンド市場、通訳ガイドの動向、及びガイドング入門
- 北陸エリアに来られる訪日外国人旅行者・高付加価値旅行者の特徴
- 異文化習慣・文化への配慮
- ホスピタリティ研修
 - コミュニケーション能力・臨機応変な対応力・高付加価値旅行者に見合った品性の向上
- 訪日外国人旅行者対応の留意点とはじめてのトラベルプランニング
- 訪日外国人旅行を取扱う旅行会社の視点から、ガイドに求める役割や要件

【テーマ別研修】 各分野における専門家を講師として想定

○インバウンドの基本的知識や訪日外国人旅行者の価値観を理解することで、ゲストと同じ目線に立ったガイドングができるようになることを目指す。

(テーマ例)

- インバウンド全般、及び欧米系の高付加価値旅行者の価値観・興味関心
- 日本の工芸と美意識、建築・アート、食(酒、発酵)、スピリチュアル
- 北陸の風土・文化・歴史(北前船、禅、土徳、加賀藩など)

【実地研修】 対面必須

- 北陸エリア(富山県、石川県、福井県及び岐阜県白川村)の実際の現場でのロールプレイング:3日(各県1日)

【ネットワーク】

- 国内 DMC とのコネクション形成、参加通訳ガイド同士の交流会